

2016年度 研究支援員配置プログラム募集要項

1.制度の趣旨

津田塾大学（以下、本学）では、文部科学省の「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」をうけ、妊娠、出産、育児、介護等により研究活動の継続が困難あるいは十分な研究時間が確保できない研究者に対し、研究活動の低下防止を目的に、研究活動を支援する者（以下、研究支援員という。）を配置するプログラム（以下、「研究支援員配置プログラム」という。）を実施します。

2.支援対象（応募資格）

専任教員（助教を含む）ならびに本学所属の研究者で、（1）～（5）いずれかの項目を満たしている方。

- （1）妊娠中の方
- （2）配偶者が妊娠中の方
- （3）小学校6年生までの子を主として養育中の方
- （4）市町村から要介護認定を受けている親族を主として介護している方
- （5）親族の病気看護および障害児者の養育等、上記に準じる理由がある方

※ 産前産後休暇や育児・介護休業中も利用できます。

※ 助教は、任期中のみとします。

※ 本学所属の研究者とは、本学所属の研究者として科研費に申請できる者ならびに本学所属の日本学術振興会特別研究員（PD）とします。但し、補助事業期間終了後に見直す場合があります。

3.研究支援員

【雇用形態】

アルバイト

【時給単価】

学部生相当 940円、大学院生相当 1,000円、研究所員相当 1,880円
交通費支給可（ただし、大学を起点とし、本学の旅費規程に従うものとする。）

【業務内容】

- ・研究者の研究・調査補助
- ・データ入力・分析、解析補助
- ・論文作成、学会発表準備の補助
- ・情報の検索・収集
- ・翻訳、報告書の作成、資料整理
- ・その他の研究業務（研究に必要な事務を含む）

※研究支援員は利用申請者の指示に従って業務を行います。下記の場合は認められません。

- ✓利用申請者以外の者に対する補助業務
- ✓利用申請者が本来すべき教育研究活動の代替業務（例：講義の代講）
- ✓勤務時間中に研究支援員が補助業務以外の活動へ従事すること

【勤務時間】

勤務時間：原則8時30分～16時30分の間の1日6時間以内。6日間を超える連続勤務、深夜勤務、土日祝日を勤務日は不可とします。

【利用の上限】

時間は月45時間(原則)を限度とします。

※利用者多数の場合は、利用の上限を減じる場合があります。

【支援員の確保】

原則として申請する研究者が確保してください。なお、研究支援員候補者がいない場合は、女性研究者支援センターまで問い合わせください。

【支援員の勤務管理】

申請する研究者および女性研究者支援センター事務室が行います。

【賃金の支払い】

各月の勤務実績に基づき、翌月に支給します。賃金は原則として毎月 21 日に、指定された銀行口座に振り込まれます。

4. 利用可能期間

2017年1月10日（火）～2017年3月31日（金）まで。なお、短期間でも可能です
※雇用手続きに時間を要した場合は、1月10日（火）以降となる場合がある。
※支援対象の資格を失った場合は、当該時点で配置を終了とします。

5. 募集期間

2016年12月21日まで。

なお、申請状況によって、12月21日以降も随時受け付けますので、ご相談ください。

6. 募集人員

2-3名程度

7. 提出書類

希望する研究者等は、申請書類一式を女性研究者支援センターに提出してください。

- (1) 研究支援員配置プログラム利用申請書（様式1）
- (2) 研究支援員候補者の履歴書（書式自由（様式2相当））
- (3) 各種証明書
 - ・妊娠・出産の場合：母子手帳、妊娠届の写し
※配偶者の妊娠を理由とする場合、申請に至った状況や理由を具体的に示した書類（様式任意）も提出
 - ・育児の場合：子供の年齢を証明できるもの（健康保険証、住民票等）の写し
 - ・介護の場合：市町村による要介護認定等を証明できるもの（介護保険被保険者証等）の写し
 - ・その他：診断書等

8. 選考

女性研究者支援センターにおいて、支援を依頼しようとしている研究内容、依頼する職務の内容及び支援の必要度を総合的に審査し、学長が決定します。なお、必要に応じて面談を行う場合があります。また、提出書類に記された個人情報は、本選考においてのみ使用します。

9. 結果の通知

女性研究者支援センターから、申請者本人に通知します。

10. 実績報告書の提出

利用者は、利用期間終了後速やかに、もしくは2017年4月3日（月）までに「研究支援員配置プログラム利用実績報告書」（様式3）をメールにて女性研究者支援センターにお送りください。また、研究支援員に対しては、「研究支援員活動報告書」（様式4）をメールにて女性研究者支援室に送付するよう伝えてください。

また、研究支援員が配置されたことによる研究業績（学会発表、論文、研究資金獲得等）があれば、事業実施の参考とするため、研究支援員配置プログラム利用実績報告書にて報告する。

1 1.本件提出先・問い合わせ先

津田塾大学女性研究者支援センター

担当：中條・上村 E-mail：jks2008@tsuda.ac.jp 内線：9504

研究支援員配置プログラム利用申請書

年 月 日

女性研究者支援センター長 殿

申請者	氏名		所属	
	連絡先	電話番号： E-mail：	職名	

下記の通り、研究支援員配置プログラムの利用を希望します。

記

※申請書に記載された個人情報は、本事業の選考にのみ使用し、個人情報として適切に管理します。

■研究支援員を必要とする理由■

①妊娠・出産、育児、介護に関する現状（該当するものに☑チェックをして、右の欄にご記入下さい。）

- 妊娠中（出産予定日 平成 年 月 日） 育児休業予定 有 無
- 育児中 第1子：満 歳 ヶ月 日中の保育者（ ）
- 第2子：満 歳 ヶ月 日中の保育者（ ）
- 第3子：満 歳 ヶ月 日中の保育者（ ）

*日中の保育者は、保育園・学童保育を含む。

- 介護・看護中 続柄： 年齢： 介護認定：要支援 / 要介護
- 申請者が介護・看護に携わる時間 1ヶ月平均 時間 1日平均 時間
- 入院や疾病などの状況（ ）

②育児・介護に関する家族的支援（配偶者等との分担、支援など）の現状

● 配偶者の状況（該当するものに☑チェックをして下さい。）

- 同居 1ヶ月平均 日勤務 / 1日平均 時間勤務（通勤時間を含む）
- 単身者または別居（単身赴任等含む）のため、配偶者の日常的なサポートはない
- その他（ ）

● 配偶者以外に同居している成人の人数

（ ）人 ※介護・看護対象者は除く

※同居の成人がサポートできない特別な事情があればご記入ください。

（ ）

● 同居・別居に関わらず、父母・兄弟姉妹・成人の子ども等のサポートを受けていますか？

（該当するものに☑チェックをして下さい。）

- 受けていない
- 週に1～2回（内容： ）
- 週に3回以上（内容： ）
- その他（内容： ）

■妊娠・出産、育児、介護から生じる研究上の困難について■

■研究支援員配置プログラム利用計画■

※支援員に依頼したい業務内容や勤務形態について、具体的に記入して下さい

■外部資金獲得状況■

※申請年度に獲得している外部資金を全て記入してください。

■研究支援員の利用により期待される研究成果■

研究支援員候補者について

氏名：

所属： (学年 年)

指導教員名： 印

* 研究支援員候補者が学部生、院生の場合、指導教員名もお願いします。

■希望する研究補助業務内容■ 該当するものにチェックをして下さい (複数可)

- 実験・調査補助 データ入力・分析、解析補助 論文作成、学会発表準備の補助
情報の検索・収集 翻訳、報告書の作成、資料整理
その他の研究業務 ()

■希望利用期間■

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

■希望勤務時間■ 該当する曜日・勤務時間帯・実働時間を記入して下さい。

(時間 (実働) / 週)

■利用交通機関■ 勤務地が学外の場合のみ記入してください。

通勤方法 :

最寄駅 (バス利用の場合は最寄駅に加えてバス停名も記入してください) :

以上

研究支援員配置プログラム利用実績報告書

年 月 日

女性研究者支援センター長 殿

申請者	氏名		所属	
	連絡先	内線番号： E-mail：	職名	

下記のとおり、女性研究者研究支援員制度を利用した実績を報告します。

記

【研究支援員氏名】

氏名：_____

【利用期間】

平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (計 時間)

【研究支援員の業務内容】

【研究支援員配置により得られた研究成果】

【研究支援員のキャリアパスへの寄与】

【本制度に関するご意見・ご希望など】

以上

研究支援員活動報告書

年 月 日

女性研究者支援センター長 殿

【支援員】

氏名： _____

所属： _____

【支援した研究者】

氏名： _____

所属： _____

下記のとおり、女性研究者研究支援員制度の支援員活動を報告します。

記

【従事期間・時間】

期間：平成 年 月～平成 年 月（ ヶ月） / 総時間数： 時間

【従事内容】

【従事しての感想・自身の研究等への効果等】

【支援員制度に関する意見や要望等】

※研究支援員が記入して、女性研究者支援室まで提出してください。